

首都圏在住福島県出身若年層アンケート調査結果概要（速報）

○調査目的

首都圏に在住する福島県出身若年層を対象に、福島県から転出したタイミングやその理由、就職・転職の意向などを調査し、現在の本県とのつながりや過去の県内での経験、Uターン意向、愛着度などの実態把握を通じて、県内就職・転職及び定着を図る上での要件や課題を明らかにする。

○期 間：令和6年5月24日（金）～令和6年6月2日（日）

○対 象：首都圏（東京都、埼玉県、千葉県、神奈川県）在住で福島県出身の18歳以上35歳未満の男女

○調査方法：SNSを活用したインターネット調査

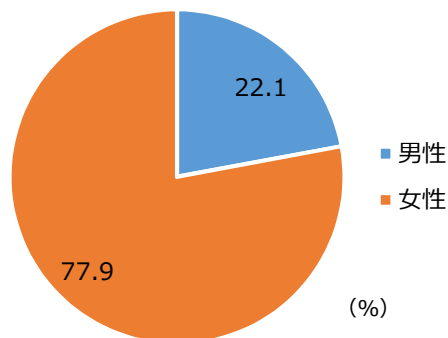
○回答件数：512件（うち男性：113件、女性399件）

○主な調査項目

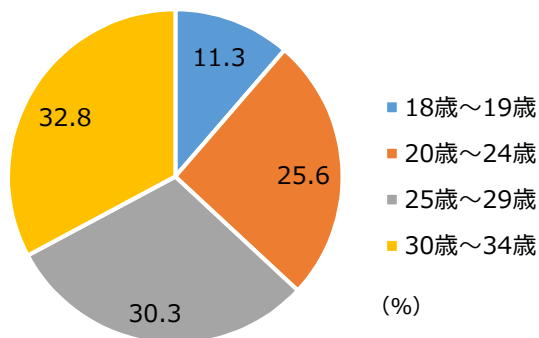
- 1 福島県からの転出経緯
- 2 就職・転職活動に関する希望状況
- 3 Uターンの可能性とUターンに求める各種条件
- 4 福島県に対するかかわりや愛着

回答者の基本情報

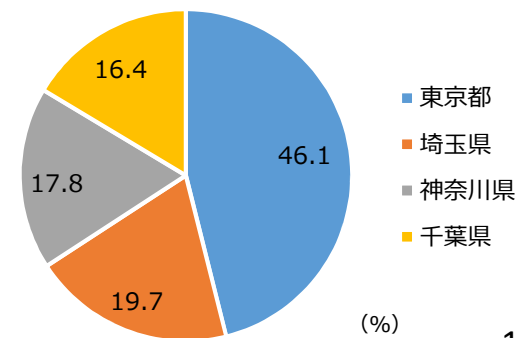
<回答者の男女内訳>



<回答者の年齢内訳>



<回答者の居住地内訳>

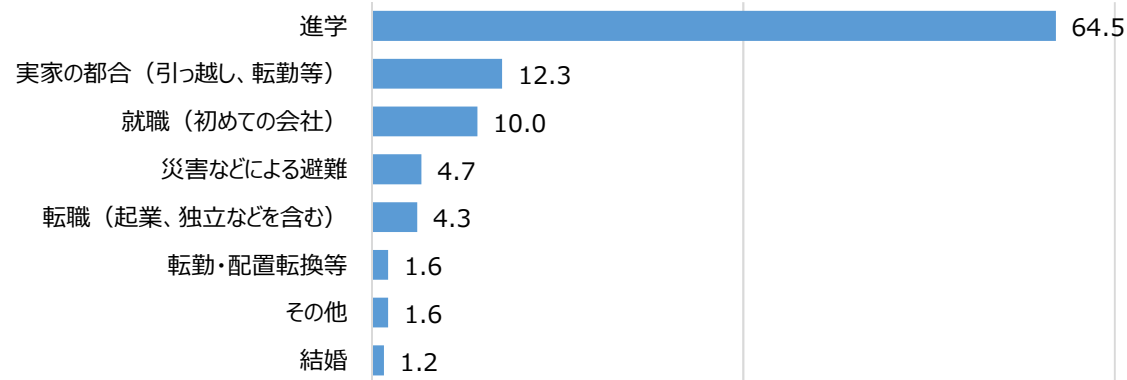


1 福島県からの転出経緯

①あなたが福島県を離れた最初のタイミングを教えてください。

○福島県を離れた最初のタイミングをみると、「進学」（64.5%）が最も多く、「実家の都合（引っ越し、転勤等）」（12.3%）、「就職（初めての会社）」（10.0%）が続いた。

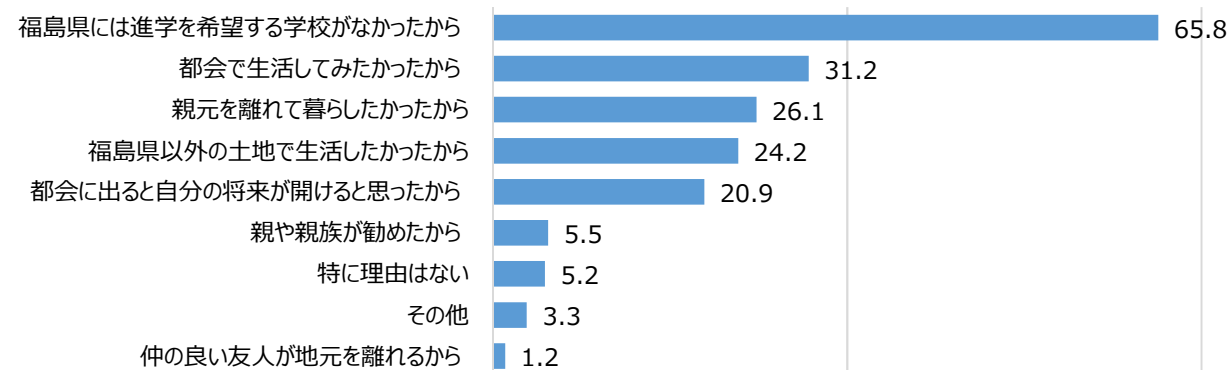
（単一回答）



②あなたが福島県内で進学しなかった理由について、あてはまるものをすべてお選びください。

○福島県内で進学しなかった理由をみると、「福島県には進学を希望する学校がなかったから」（65.8%）が最も多く、「都会で生活してみたかったから」（31.2%）、「親元を離れて暮らしたかったから」（26.1%）が続いた。

（複数回答）

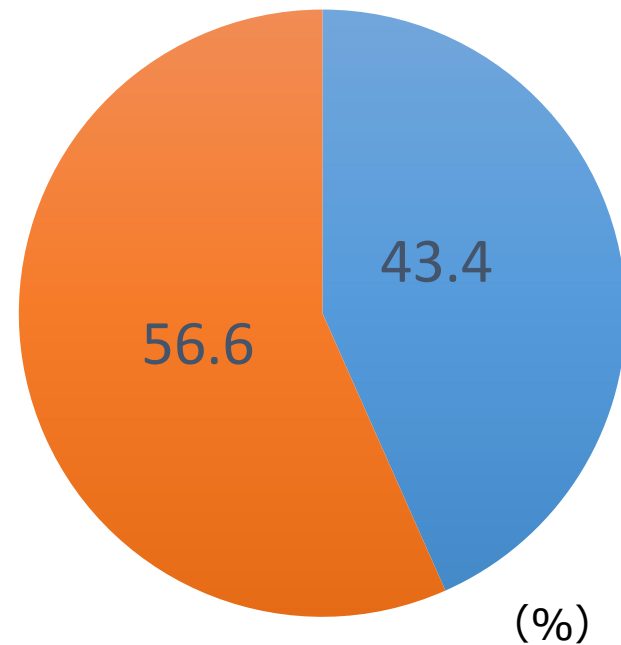


2 就職・転職活動に関する希望状況

①あなたは福島県内での就職・転職を検討したことがありますか。

○福島県内での就職・転職の検討の有無をみると、「検討したことがある」が43.4%、「検討したことはない」が56.6%となった。

(単一回答)



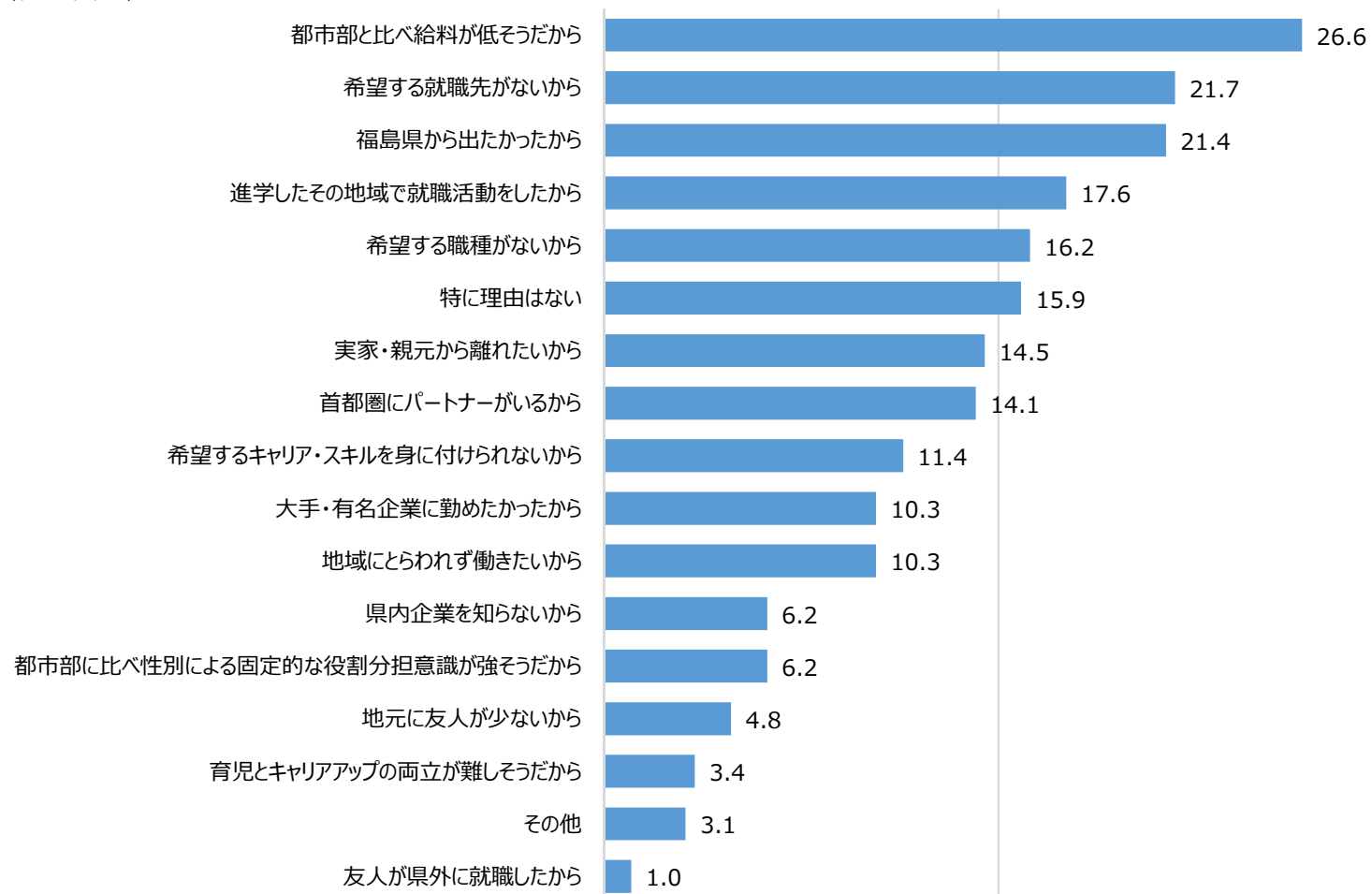
■ 検討したことがある ■ 検討したことはない

2 就職・転職活動に関する希望状況

②あなたが福島県内での就職・転職を検討しなかった理由について、あてはまるものをすべてお選びください。※2-①の問いに「検討したことはない」と答えた方が回答

○福島県内での就職・転職を検討しなかった理由をみると、「都市部と比べ給料が低そうだから」（26.6%）が最も多く、「希望する就職先がないから」（21.7%）、「福島県から出たかったから」（21.4%）が続いた。

（複数回答）



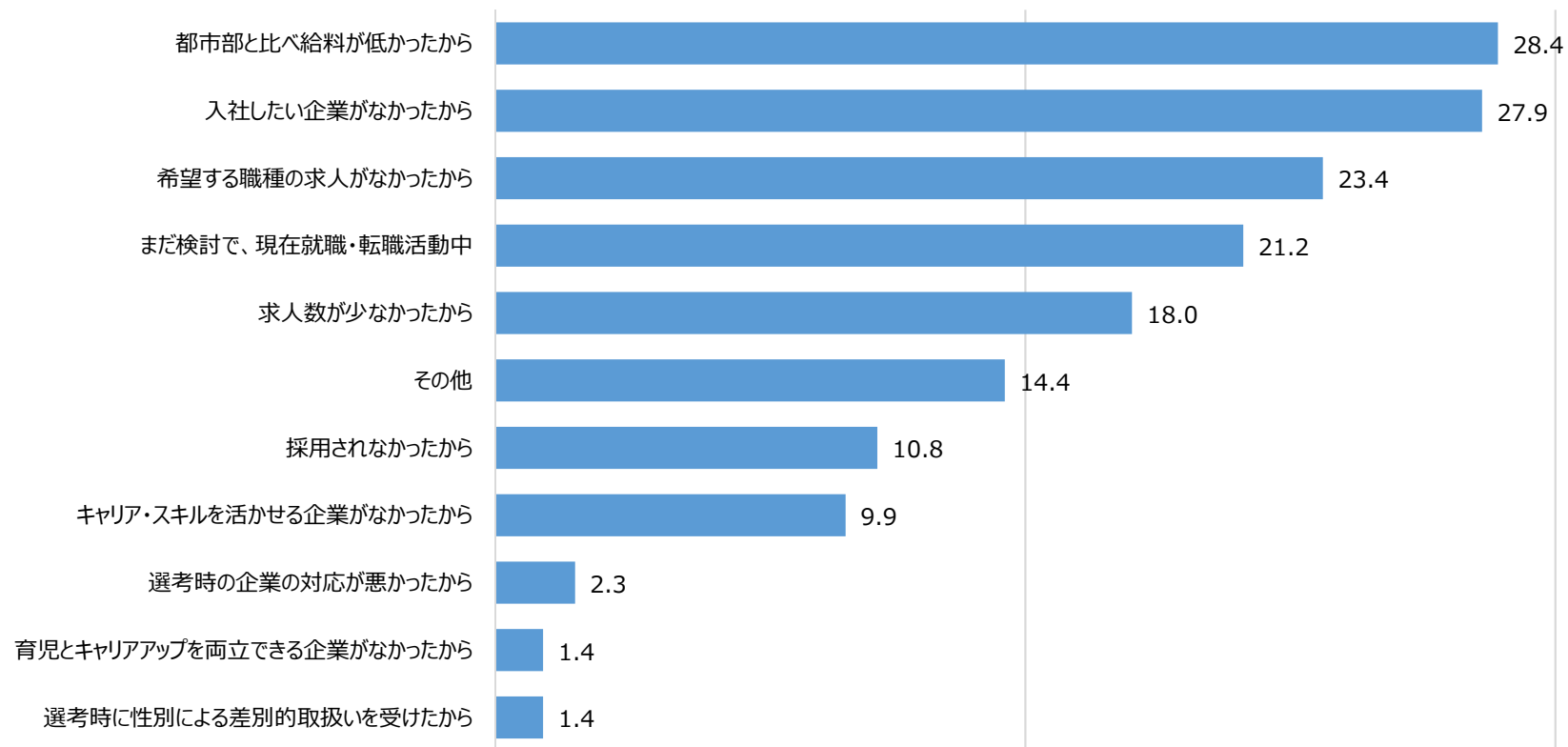
2 就職・転職活動に関する希望状況

③あなたが県内企業での就職・転職に至らなかった理由について、あてはまるものをすべてお選びください。

※2-①の問いに「検討したことがある」と答えた方が回答

○県内企業での就職・転職に至らなかった理由をみると、「都市部と比べ給料が低かったから」（28.4%）が最も多く、「入社したい企業がなかったから」（27.9%）、「希望する職種の求人がなかったから」（23.4%）が続いた。

（複数回答）

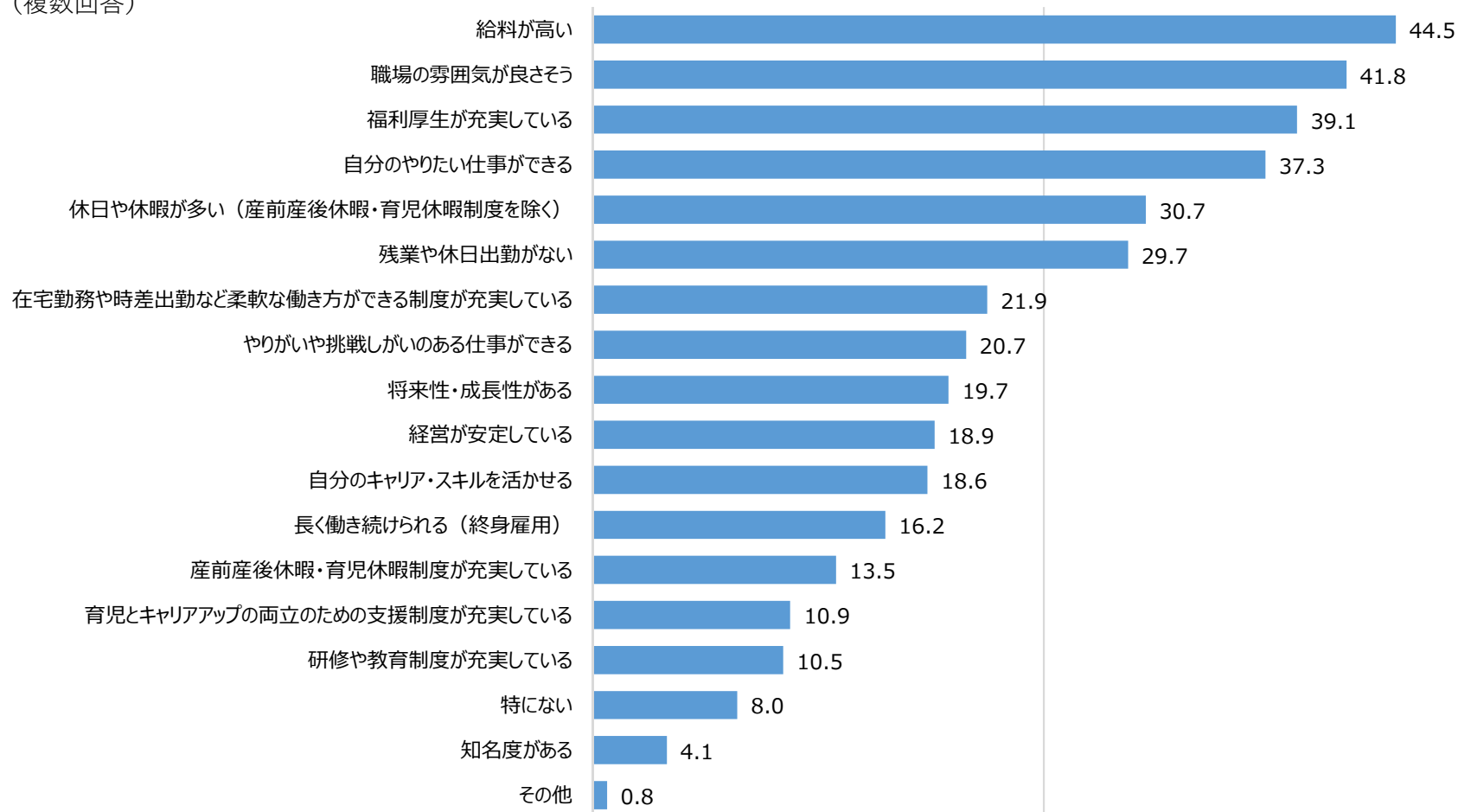


2 就職・転職活動に関する希望状況

④あなたが就職・転職先を選ぶ際に重視した（する）ポイントについて、あてはまるものを5つまでお選びください。

○就職・転職先を選ぶ際に重視するポイントを見ると、「給料が高い」（44.5%）が最も多く、「職場の雰囲気が良さそう」（41.8%）、「福利厚生が充実している」（39.1%）が続いた。

（複数回答）

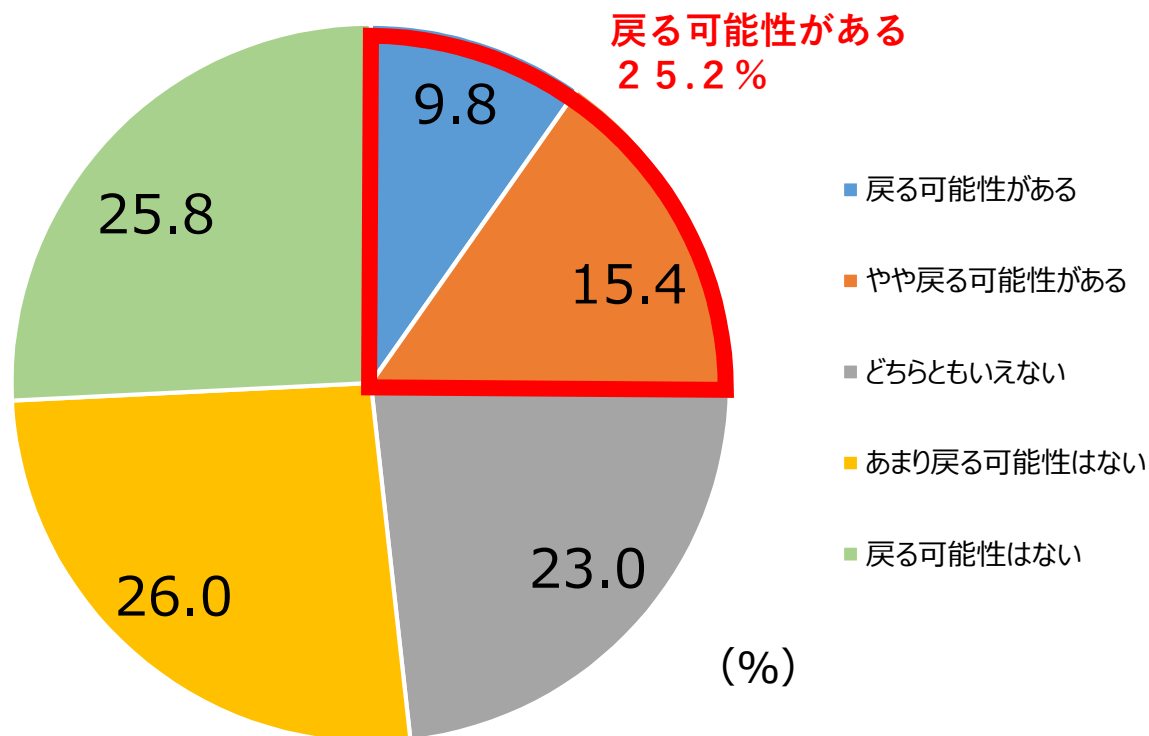


3 就職・転職活動に関する希望状況

①あなたが将来、福島県に戻る可能性を教えてください。

○福島県へのUターンの可能性をみると、「戻る可能性がある」（「戻る可能性がある」「やや戻る可能性がある」の合計）が25.2%、「どちらともいえない」が23.0%、「戻る可能性はない」（「あまり戻る可能性はない」「戻る可能性はない」の合計）が51.8%となった。

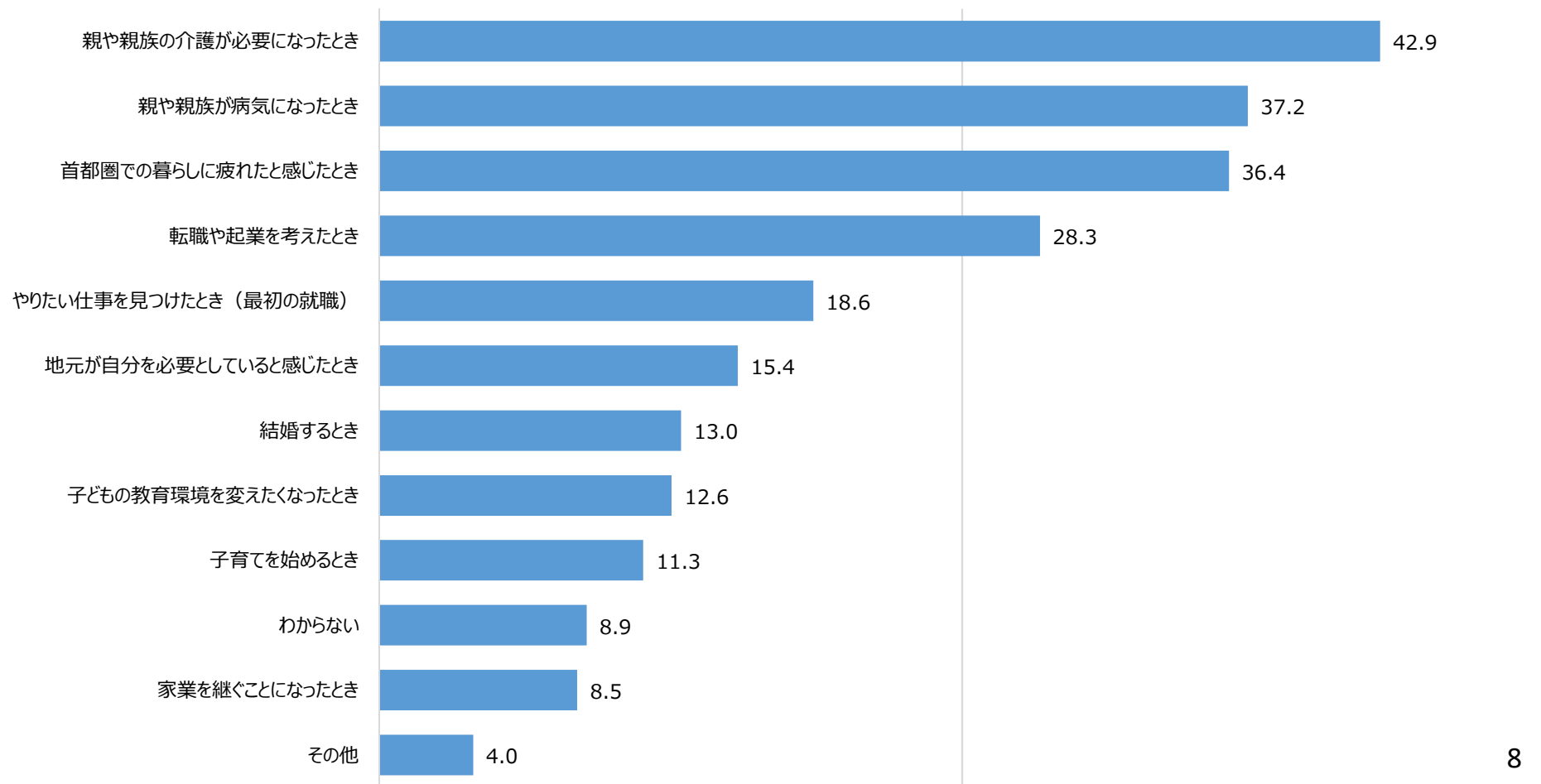
（単一回答）



3 就職・転職活動に関する希望状況

- ②あなたが将来、福島県に戻るきっかけになると思うタイミングについて、あてはまるものをすべてお選びください。 ※3-①の問いに「戻る（やや戻る）可能性がある」「どちらともいえない」と答えた方が回答
- 将来、福島県にUターンするきっかけとなるタイミングをみると、「親や親族の介護が必要になったとき」（42.9%）が最も多く、「親や親族が病気になったとき」（37.2%）、「首都圏での暮らしに疲れたと感じたとき」（36.4%）が続いた。

（複数回答）



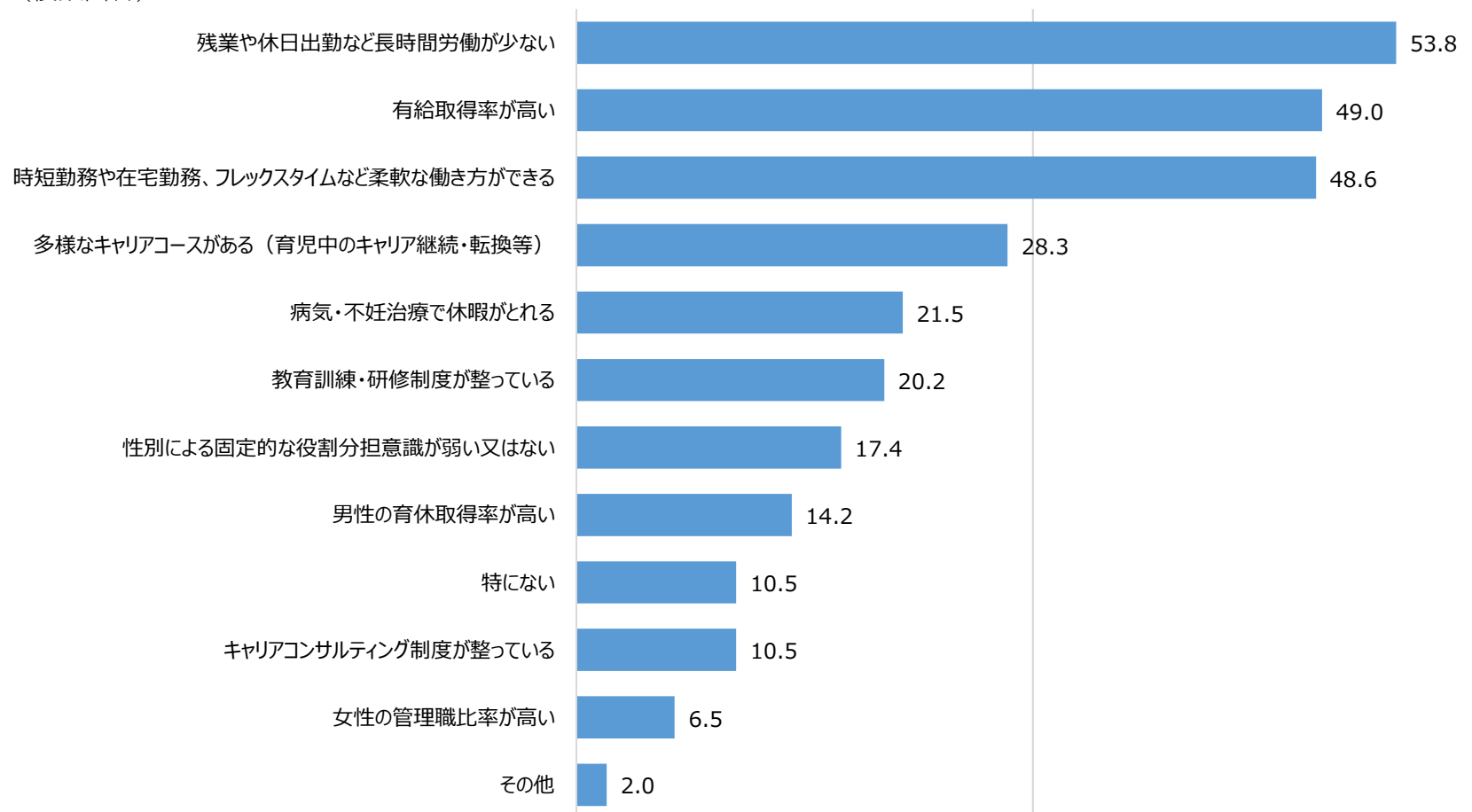
3 就職・転職活動に関する希望状況

③福島県に戻る際に、働く場所として企業に求める条件について、あてはまるものをすべてお選びください。

※3-①の問いに「戻る（やや戻る）可能性がある」「どちらともいえない」と答えた方が回答

○働く場所として福島県内企業に求める条件をみると、「残業や休日出勤など長時間労働が少ない」（53.8%）が最も多く、「有給取得率が高い」（49.0%）、「時短勤務や在宅勤務、フレックスタイムなど柔軟な働き方ができる」（48.6%）が続いた。

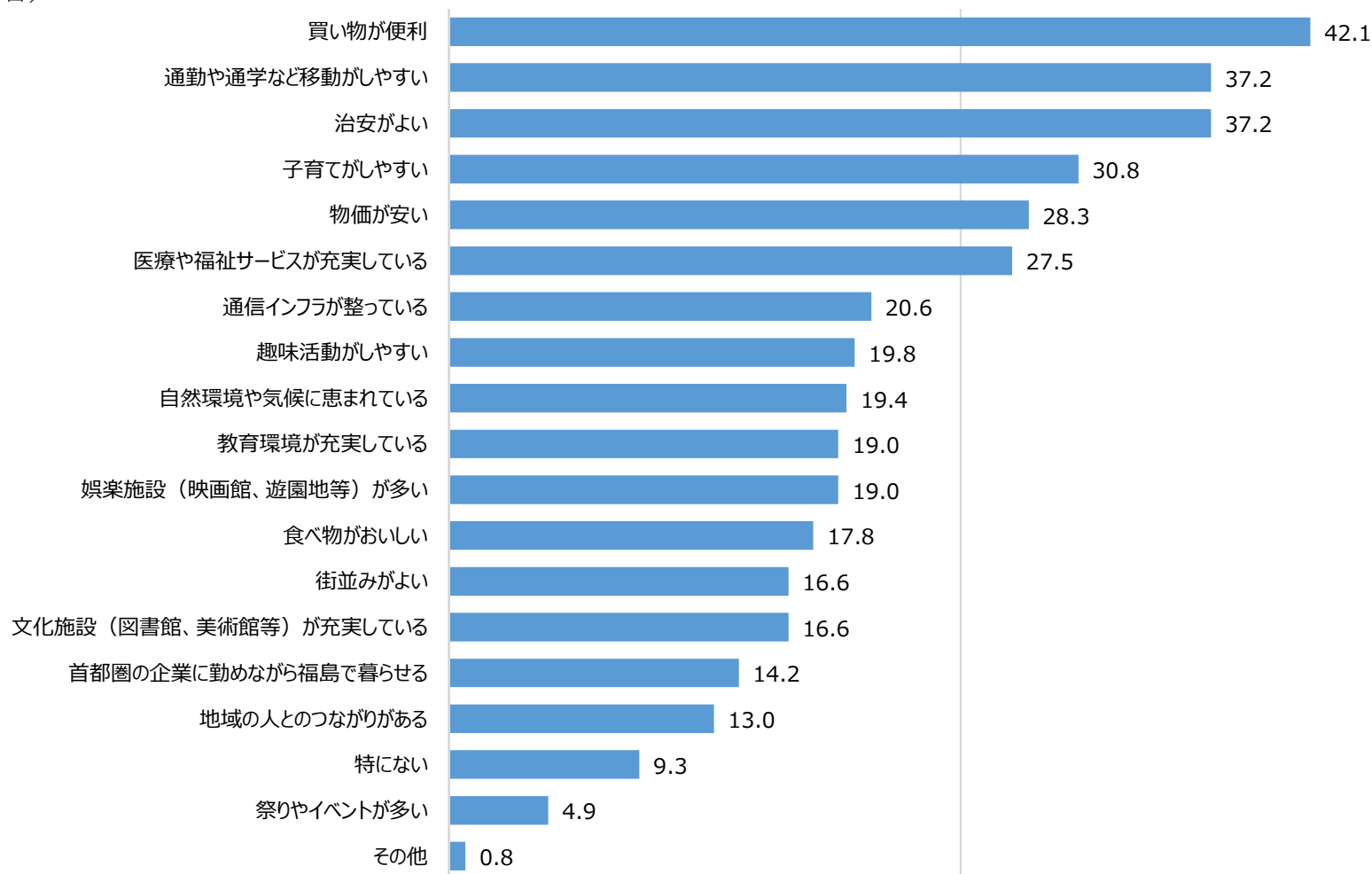
（複数回答）



3 就職・転職活動に関する希望状況

- ④福島県に戻る際に、暮らす場所として地域に求める条件について、あてはまるものを5つまでお選びください。※3-①の問いに「戻る（やや戻る）可能性がある」「どちらともいえない」と答えた方が回答
- 暮らす場所として福島県内の地域に求める条件をみると、「買い物が便利」（42.1%）が最も多く、「通勤や通学など移動がしやすい」「治安がよい」（37.2%）が続いた。

（複数回答）

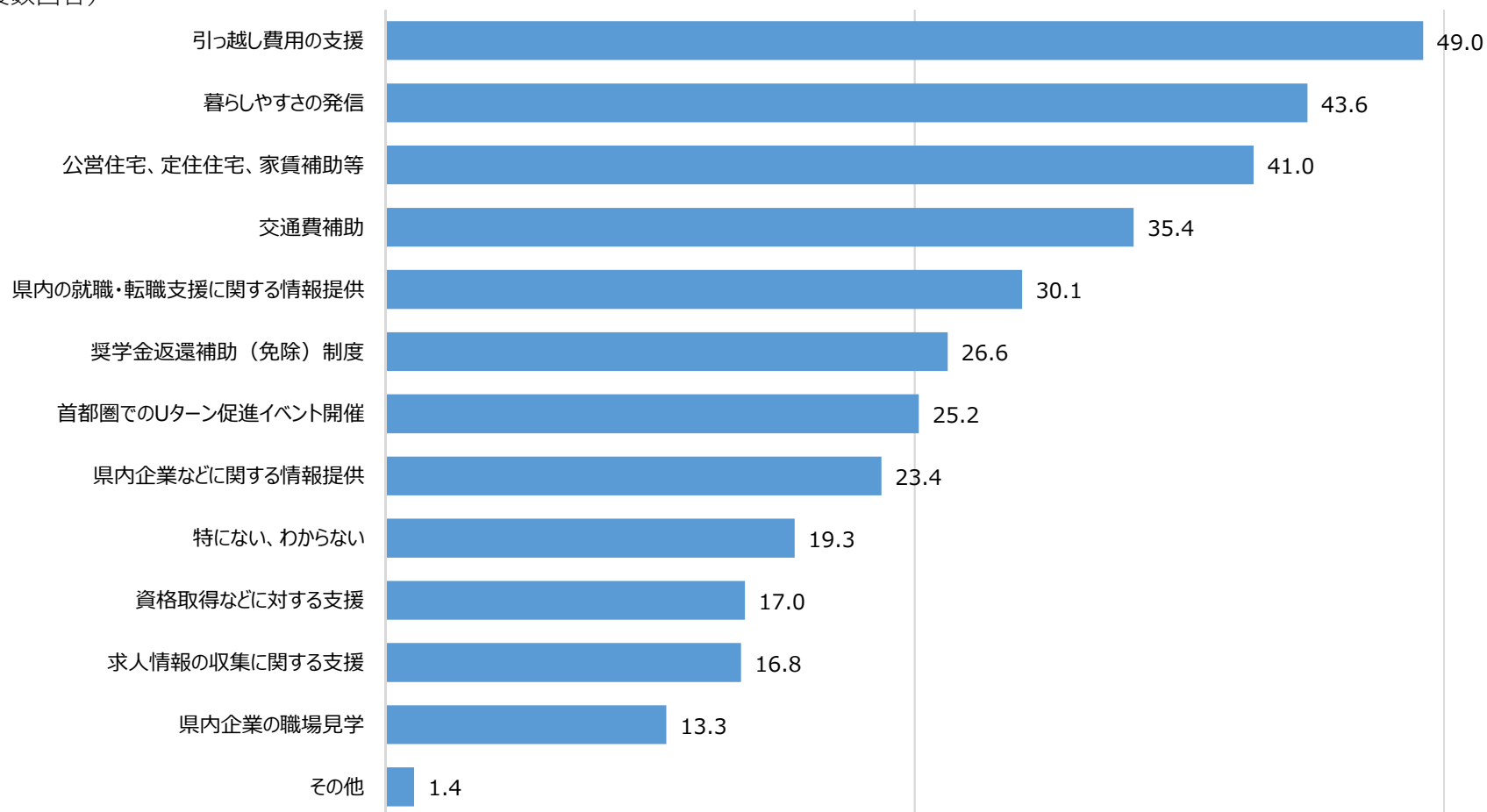


3 就職・転職活動に関する希望状況

⑤20～30代の若者の福島県へのUターンを促進するために、行政に期待する支援について、あてはまるものをすべてお選びください。

○若者の福島県へのUターン促進のために行政に期待する支援をみると、「引っ越し費用の支援」(49.0%)が最も多く、「暮らしやすさの発信」(43.6%)、「公営住宅、定住住宅、家賃補助等」(41.0%)が続いた。

(複数回答)

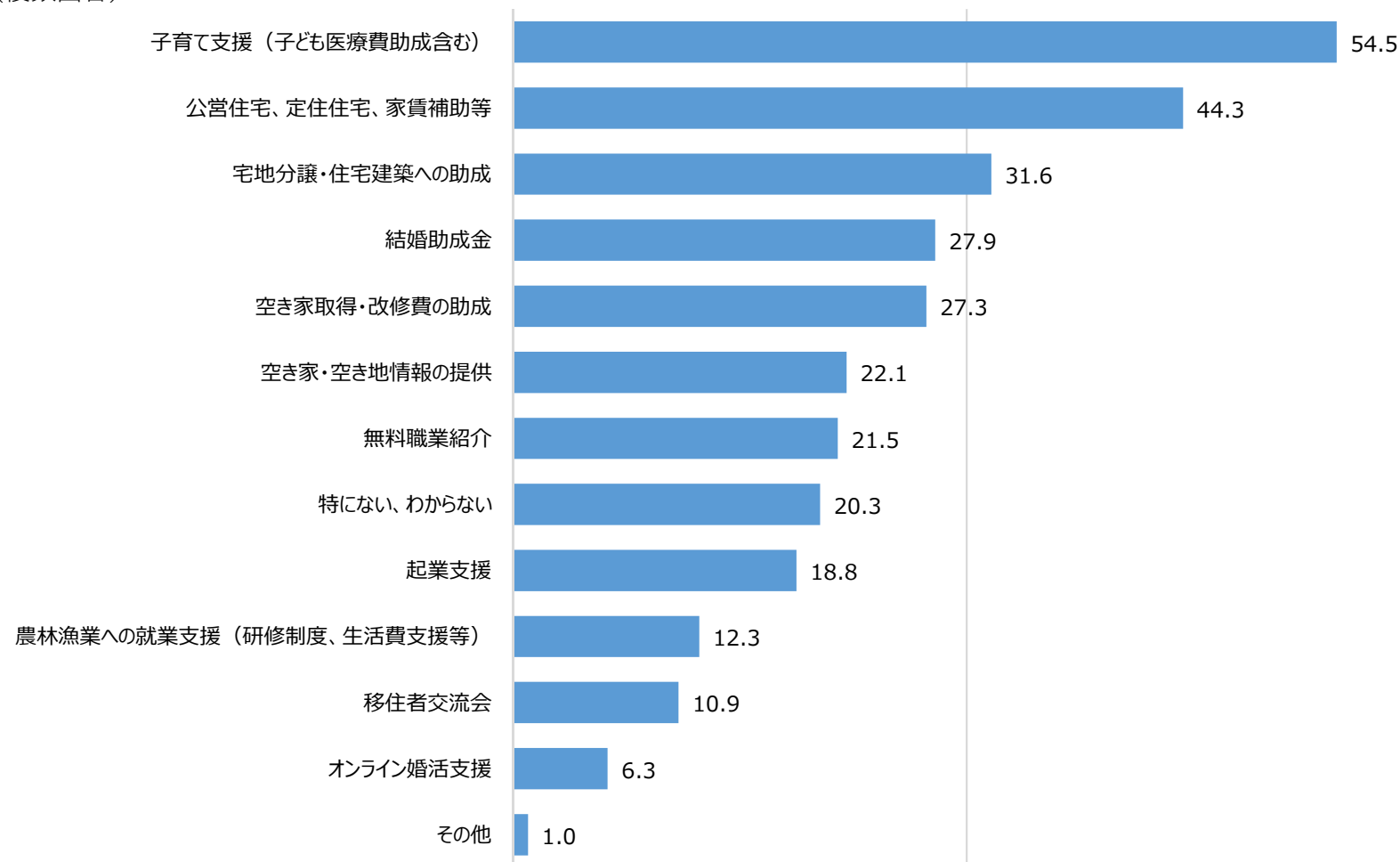


3 就職・転職活動に関する希望状況

⑥若者の福島県での定住（5年以上住み続ける）を促進するために、行政に期待する支援について、あてはまるものをすべてお選びください。

○若者の福島県での定住（5年以上住み続ける）促進のために行政に期待する支援をみると、「子育て支援（子ども医療費助成含む）」（54.5%）が最も多く、「公営住宅、定住住宅、家賃補助等」（44.3%）、「宅地分譲・住宅建築への助成」（31.6%）が続いた。

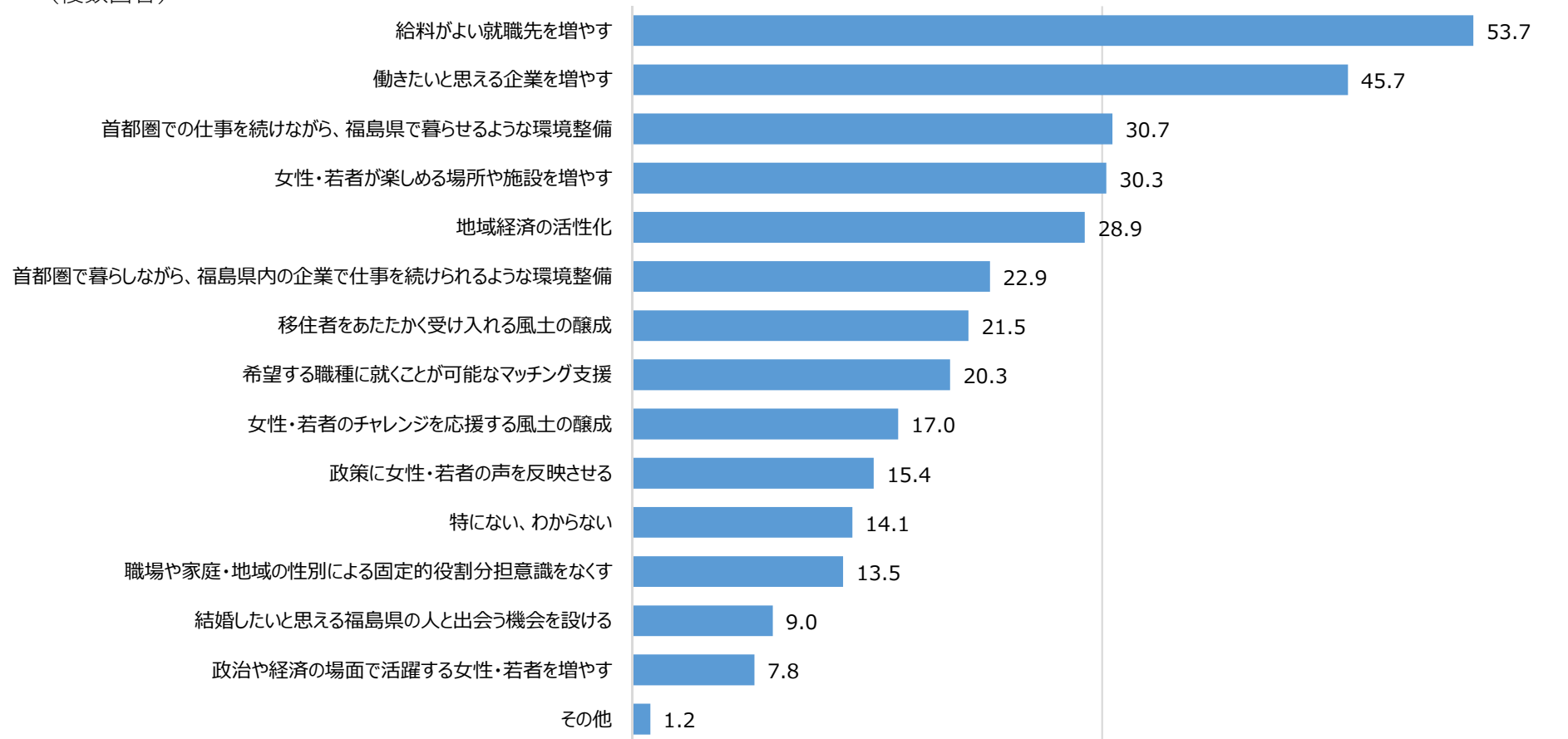
（複数回答）



3 就職・転職活動に関する希望状況

- ⑦若者の福島県への移住・定住を促進するために、地域や企業に必要な取組みについて、あなたの考えを教えてください。※あてはまるものを5つまでお選びください。
- 若者の福島県への移住・定住促進のために地域や企業に必要な取組みをみると、「給料がよい就職先を増やす」(53.7%)が最も多く、「働きたいと思える企業を増やす」(45.7%)、「首都圏での仕事を続けながら、福島県で暮らせるような環境整備」(30.7%)が続いた。

(複数回答)

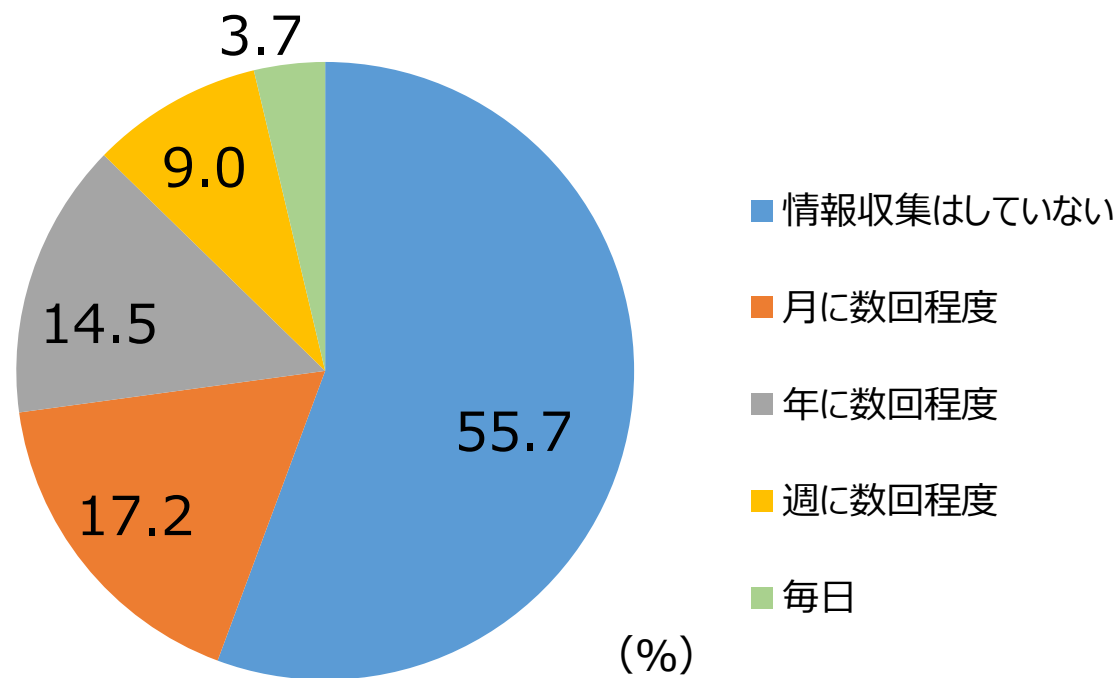


4 福島県に対するかかわりや愛着

①福島県に関する情報収集の頻度を教えてください。

○福島県に関する情報収集の頻度をみると、「情報収集はしていない」（55.7%）が最も多く、「月に数回程度」（17.2%）、「年に数回程度」（14.5%）が続いた。

（単一回答）



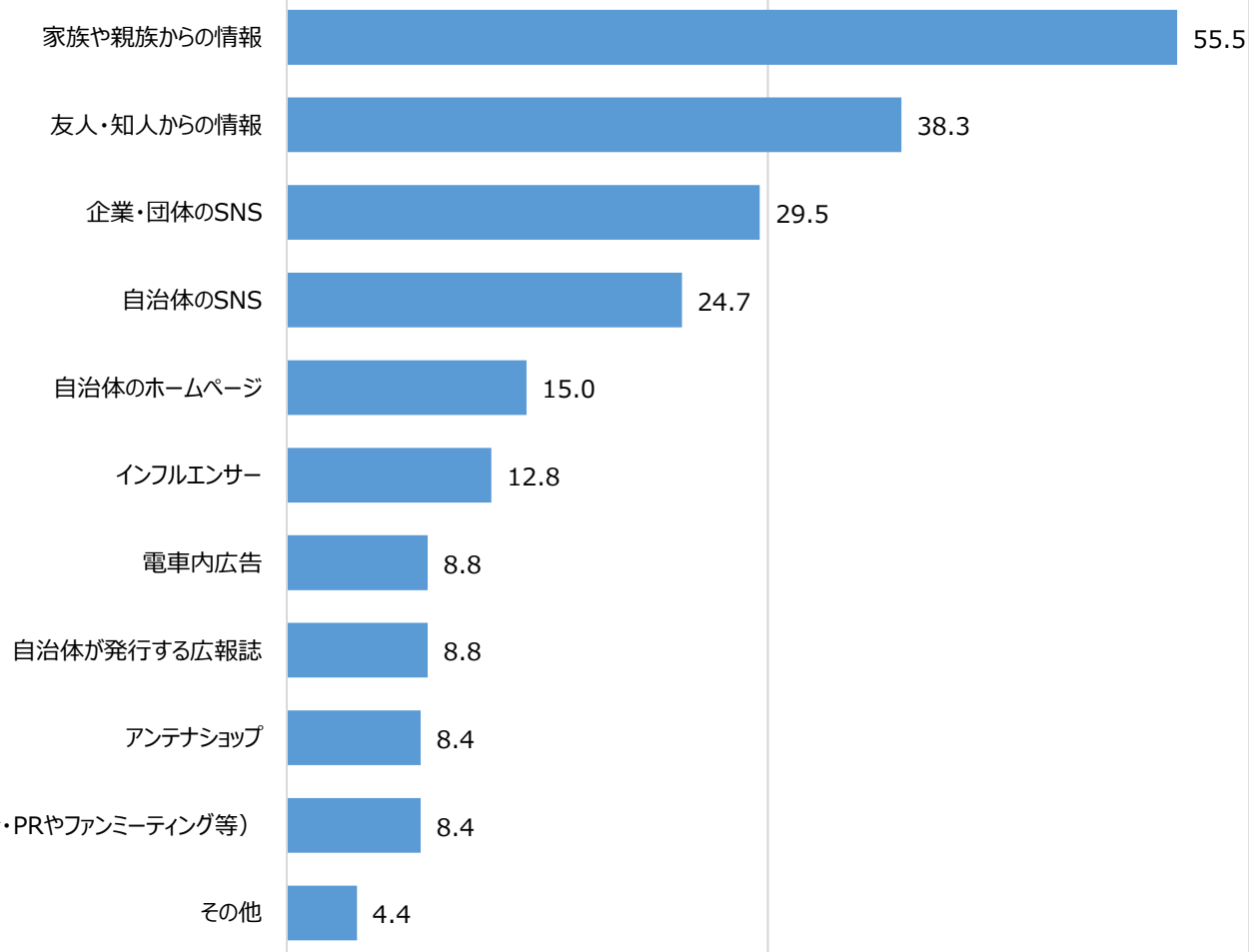
4 福島県に対するかかわりや愛着

②福島県に関する情報収集の方法について、あてはまるものをすべてお選びください。

※4-①の問いに「情報収集はしていない」と答えた方以外が回答

○福島県に関する情報収集の方法をみると、「家族や親族からの情報」（55.5%）が最も多く、「友人・知人からの情報」（38.3%）、「企業・団体のSNS」（29.5%）が続いた。

（複数回答）

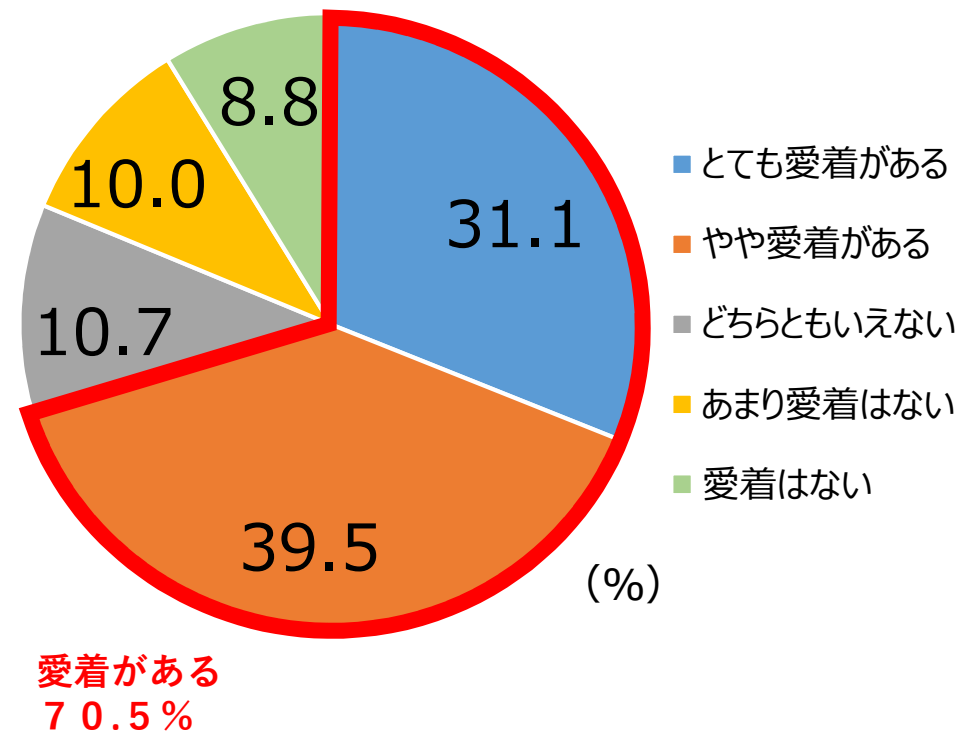


4 福島県に対するかかわりや愛着

③あなたは福島県又は県内市町村にどの程度愛着がありますか。

○福島県又は県内市町村への愛着度をみると、「愛着がある」（「とても愛着がある」「やや愛着がある」の合計）が70.5%、「どちらともいえない」が10.7%、「愛着がない」（「あまり愛着はない」「愛着はない」の合計）が18.8%となった。

（単一回答）

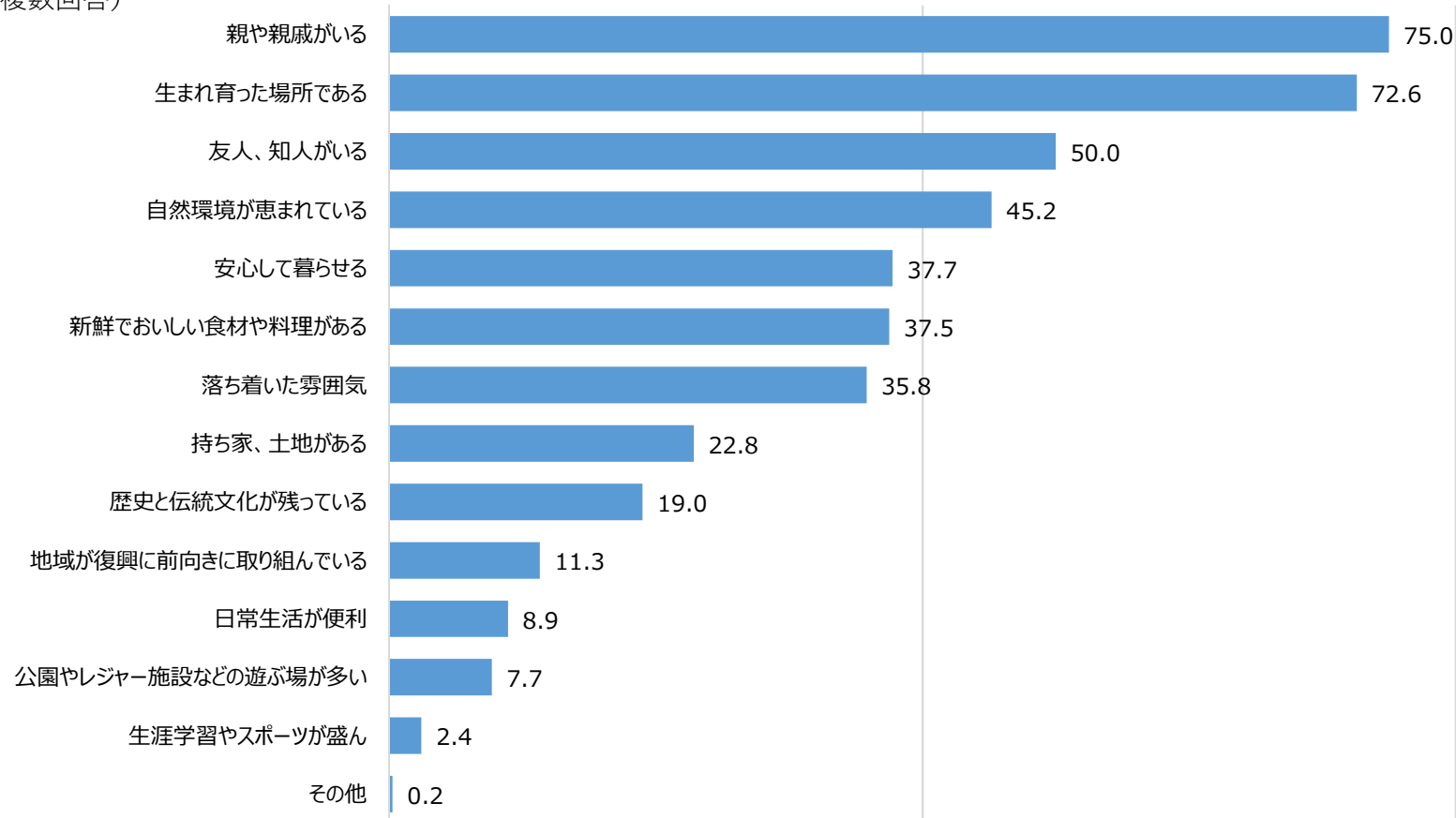


4 福島県に対するかかわりや愛着

④あなたが福島県に愛着を感じる要素について、あてはまるものをすべてお選びください。

○福島県に愛着を感じる要素をみると、「親や親戚がいる」（75.0%）が最も多く、「生まれ育った場所である」（72.6%）、「友人、知人がいる」（50.0%）が続いた。

（複数回答）



4 福島県に対するかかわりや愛着

⑤福島県内在住時（学生時代）の生活で福島県への愛着形成につながったと思う機会・経験について、あてはまるものをすべてお選びください。

○福島県内在住時の生活で福島県への愛着形成につながった機会・経験をみると、「特にない」（36.5%）が最も多く、「地域の芸術・文化について触れた」（27.4%）、「地域住民とのコミュニケーション」（26.0%）が続いた。

（複数回答）

